

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年11月26日（火）

2 確認箇所

Eタンクエリア（図1）

3 確認項目

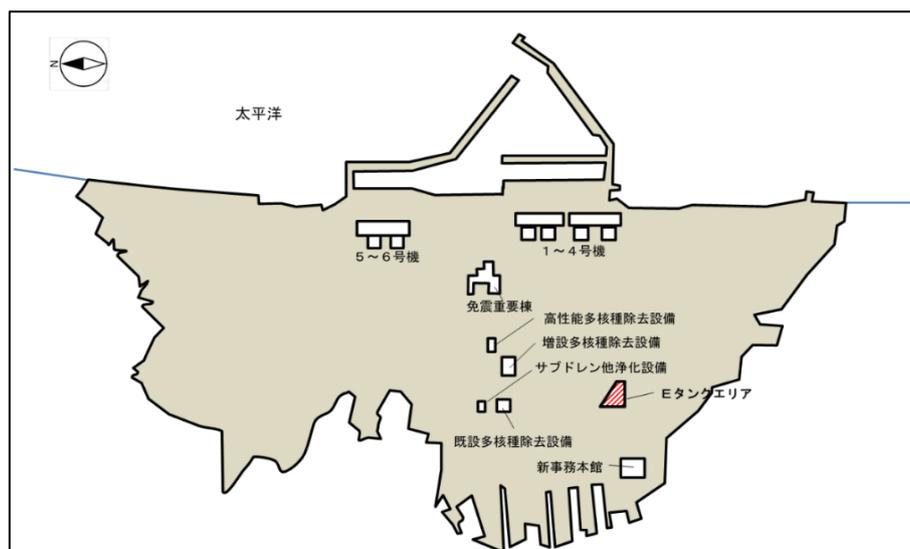
フランジ型タンクからのスラッジ回収作業の状況

4 確認結果の概要

Eタンクエリアでは、フランジ型タンクの解体作業が進められており、これまでに全49基中48基の解体が完了している。残る1基のタンク（D1タンク（写真1））の底部残水（RO濃縮水）には、アルファ線放出核種が含まれており、底部残水の漏えいリスク低減のため、タンク内のスラッジ等を移送後にタンク内壁を除染し、解体を行う計画となっている。

今回は、スラッジ回収に向けて実施されているハウス等の設置状況を確認した。（前回確認日：[令和6年7月19日](#)）

- ・D1タンクの側板マンホール部に、スラッジを回収するためのバキュームポンプを設置するハウスが新たに設置されていた。（写真2）
- ・回収用ホースがバキュームポンプ設置ハウスから、新たに設置されたスラッジ回収タンクハウスへ接続されていた。（写真3）
- ・防液堤の外側に遠隔操作室が設置されていた。（写真4）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1) フランジタンク外観



(写真2) バキュームポンプ設置ハウス



(写真3) スラッジ回収タンクハウス



(写真4) 遠隔操作室

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。